

日野川流域 もの知り手帳

日野川堰 (ひのがわぜき)

もの知りさんに聞いてみよう

堰とは、水をせき止めることにより水位を上げ、水を取水出来るようにしたものです。日野川堰はゴム製で、農業用水や旧加茂川の浄化用水を目的として作られました。

普段は、風船のように中に空気を入れてふくらませて水を堰き止め、大雨などによる洪水時には空気をぬいて潰し水を流す仕組みになっています。この仕組みを可動堰といいます。この仕組みによって洪水時には安全に水を流し、農業用水の安定した供給や旧加茂川への浄化用水の確保など多目的に利用されています。

日野川堰の変遷

旧日野川堰は、昭和8年に竣工したインド型と呼ばれるコンクリート製の固定堰で、60年にわたり農業用水である米川用水の取水堰として機能を果たしてきましたが、洪水の流下能力が不足していることや年数が経過していることにより、現在のゴム引布製起伏堰に改築されました。



●空気が入った状態で水をせき止めます



●空気を抜いて水を流します



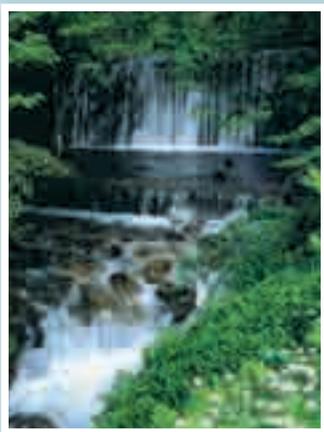
●堰の大きさは、このくらい



●制御室



●山陰道(国道9号米子バイパス)日野川東I.Cの西側、米子大橋の下流に位置しています



水辺のオッチング

【表紙写真紹介】

“清流”

水辺に白い花が咲き心が洗われる気持ちになりました。

- 第10回 日野川フォトコンテスト入賞作品
一般Aの部 銅賞 大森 博さん
- 撮影場所：江府町下蚊屋